

## 北海道の交通事故概況（11月末確定数）

## 1 平成29年11月末の交通事故発生状況

区分\内容	11 月 中		11 月 末	
		前年比		前年比
発生件数 (件)	922	-89	9,701	-387
傷者数 (人)	1,073	-115	11,359	-614
死者数 (人)	15	-7	137	-7

[過去10年、11月中、11月末及び年間死者の推移]

区分\年別	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	過 去 平 均		H29年
											10か年	5か年	
11月中死者	24	25	22	24	22	27	17	16	17	22	22	20	15
11月末死者	269	201	196	193	174	179	164	160	168	144	185	163	137
年間死者	286	228	218	215	190	200	184	169	177	158	203	178	—

都道府県別（11月中）

順位	1	4	5
都道府県名	埼玉 千葉 神奈川	兵庫	北海道
死者数	19	18	15

（11月末）

順位	1	2	3	5
都道府県名	愛知	埼玉	東京	北海道
死者数	172	161	147	137

## 2 交通死亡事故の発生状況

## (1) 11月中の死亡事故（15人）

- 事故類型別：人対車両が7人(46.7%)、車両単独が5人(33.3%)
- 道路別：国道、道道が各々5人(33.3%)
- 地形・道路形状別：市街地交差点が8人(53.3%)、非市街地直線が4人(26.7%)
- 発生時間別：16～18時が5人(33.3%)、2～4時、4～6時が各々3人(20.0%)
- 第一当事者年齢別：40歳代が4人(26.7%)、若年者、30歳代が各々3人(20.0%)
- 第一当事者違反別：前方不注意が4人(26.7%)、最高速度、歩行者妨害が各々3人(20.0%)
- 死者年齢別：高齢者が9人(60.0%)、若年者が3人(20.0%)

## (2) 11月末の死亡事故（137人）

- 事故類型別：
  - ・ 車両単独が43人31.4%（うち操作不適が17人39.5%、最高速度が14人32.6%）
  - ・ 人対車両が37人27.0%（うち前方不注意が18人48.6%、歩行者妨害が8人21.6%）
  - ・ 正面衝突が23人16.8%（うち前方不注意が11人47.8%、操作不適が9人39.1%）
- 道路別：
  - ・ 国道が58人42.3%（うち正面衝突が16人27.6%、車両単独が13人22.4%）
  - ・ 道道が38人27.7%（うち車両単独が14人36.8%、人対車両が10人26.3%）
  - ・ 市町村道が28人20.4%（うち人対車両が14人50.0%、車両単独が7人25.0%）
- 地形・道路形状別：
  - ・ 非市街地直線が38人27.7%（うち車両単独が17人44.7%、正面衝突が10人26.3%）
  - ・ 市街地交差点が36人26.3%（うち人対車両が20人55.6%、自転車対車が5人13.9%）
  - ・ 市街地直線が23人16.8%（うち人対車両が15人65.2%、車両単独が5人21.7%）
  - ・ 非市街地カーブが23人16.8%（うち車両単独が13人56.5%、正面衝突が9人39.1%）
- 発生時間別：
  - ・ 10～12時が20人14.6%（うち車両単独が7人35.0%、正面衝突が4人20.0%）
  - ・ 16～18時が19人13.9%（うち人対車両が10人52.6%、出会い頭、車両単独が各々2人10.5%）
  - ・ 6～8時が15人10.9%（うち正面衝突が5人33.3%、車両単独が3人20.0%）
- 第一当事者年齢別：
  - ・ 高齢運転者による死者が33人24.1%（うち車両単独が16人48.5%、正面衝突が5人15.2%）
  - ・ 40歳代運転者による死者が29人21.2%（うち車両単独が11人37.9%、人対車両が10人34.5%）
  - ・ 50歳代運転者による死者が25人18.2%（うち正面衝突が6人24.0%、人対車両、車両単独が各々5人20.0%）
- 第一当事者違反別：
  - ・ 前方不注意が42人30.7%（うち人対車両が18人42.9%、正面衝突が11人26.2%）
  - ・ 操作不適が26人19.0%（うち車両単独が17人65.4%、正面衝突が9人34.6%）
  - ・ 最高速度が21人15.3%（うち車両単独が14人66.7%、人対車両、正面衝突が各々2人9.5%）
- 死者年齢別：
  - ・ 高齢の死者が69人50.4%（うち人対車両が27人39.1%、車両単独が17人24.6%）
  - ・ 50歳代の死者が19人13.9%（うち正面衝突が6人31.6%、車両単独が4人21.1%）
  - ・ 40歳代の死者が17人12.4%（うち車両単独が10人58.8%、正面衝突が3人17.6%）
- シートベルト非着用者：
  - 自動車（二輪を除く）乗車中の死者83人中、シートベルト非着用者は33人(39.8%)であり、うち23人はシートベルトをしていたならば助かった可能性が高い。

(3) 方面別発生状況

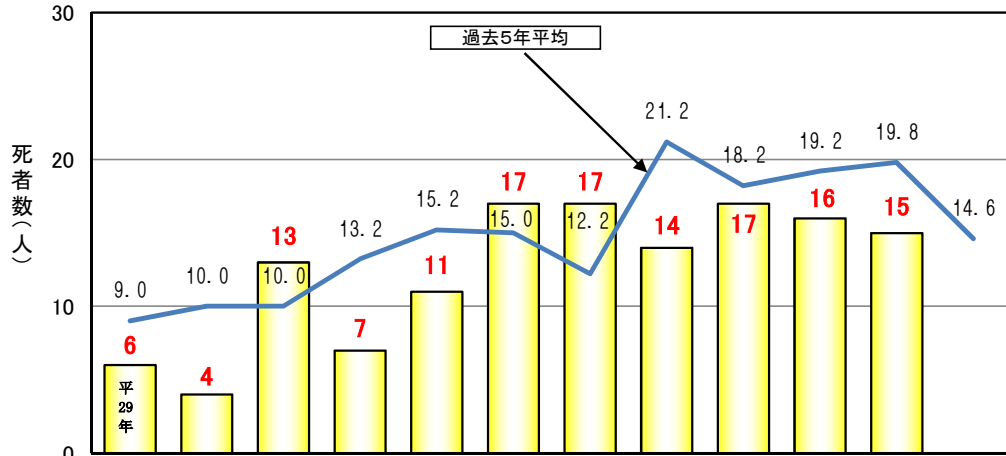
11月中の死者は、札幌方面が10人(66.7%)で最も多く、次いで旭川方面が3人(20.0%)、函館方面が2人(13.3%)となっている。

11月末の死者は、札幌方面が66人(48.2%)で最も多く、次いで釧路方面が23人(16.8%)、旭川方面が22人(16.1%)となっている。

方面別\区分	発生件数		傷者数		死者数		方面別\区分	発生件数		傷者数		死者数			
		前年比		前年比		前年比			前年比		前年比		前年比		
11月中	全道	922	-89	1,073	-115	15	-7	11月末	全道	9,701	-387	11,359	-614	137	-7
	札幌方面	668	-32	771	-43	10	-5		札幌方面	6,999	-115	8,076	-306	66	-17
	函館方面	72	-12	82	-25	2	2		函館方面	751	-67	931	-73	12	1
	旭川方面	75	-27	92	-40	3	2		旭川方面	849	-111	1,028	-163	22	4
	釧路方面	79	-1	92	6		-3		釧路方面	818	-52	972	-43	23	2
	北見方面	28	-17	36	-13		-3		北見方面	284	-42	352	-29	14	3

(4) 月別発生状況の推移

11月中の死者は15人で過去5年平均19.8人を下回っており、11月末においても137人で過去5年平均163.0人を下回っている。



区分\月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成29年	6	4	13	7	11	17	17	14	17	16	15		137
年間累計	6	10	23	30	41	58	75	89	106	122	137		
過去5年平均	9.0	10.0	10.0	13.2	15.2	15.0	12.2	21.2	18.2	19.2	19.8	14.6	177.6
累計平均	9.0	19.0	29.0	42.2	57.4	72.4	84.6	105.8	124.0	143.2	163.0	177.6	

※過去5年の月末累計平均は、各月平均の合計とは一致しない。

(5) 都道府県別死者

11月中は、埼玉県、千葉県、神奈川県が各々19人で最も多く、次いで兵庫県が18人の順であり、北海道は15人で5番目となっている。

11月末は、愛知県が172人で最も多く、次いで埼玉県が161人、東京都が147人の順になっており、北海道は137人で5番目となっている。

区分\都道府県	愛知	埼玉	東京	兵庫	大阪	北海道	千葉	神奈川	茨城	福岡	全 国
11月中死者数	15	19	12	18	14	15	19	19	14	13	372
ワースト順位	5	1	11	4	8	5	1	1	8	10	—
前年比	-11	+9	-3	+2	-2	-7	+5	+9	±0	+2	+22
増減率(%)	-42.3	+90.0	-20.0	+12.5	-12.5	-31.8	+35.7	+90.0	±0	+18.2	+6.3
11月末死者数	172	161	147	141	137	137	134	132	131	126	3,312
ワースト順位	1	2	3	4	5	5	7	8	9	10	—
前年比	-18	+24	+5	+5	-6	-7	-29	+16	-1	+4	-172
増減率(%)	-9.5	+17.5	+3.5	+3.7	-4.2	-4.9	-17.8	+13.8	-0.8	+3.3	-4.9

※構成率は四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合があります。

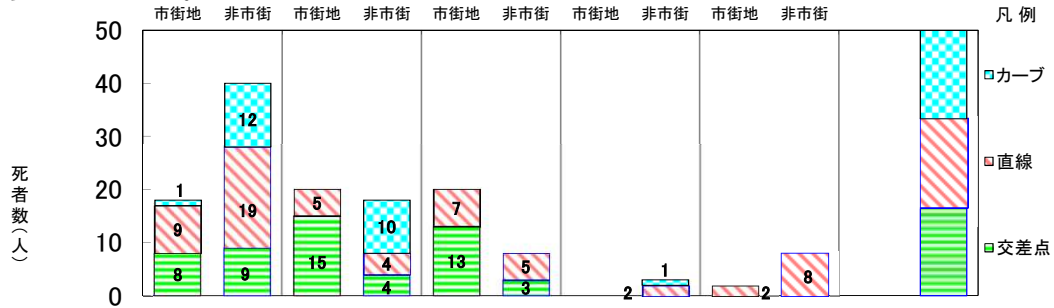
### 3 死亡事故の特徴

#### (1) 道路別

国道が58人(42.3%)で最も多く、次いで道道が38人(27.7%)となっている。

- ・ 国道は、非市街地直線が19人(32.8%)
- ・ 道道は、市街地交差点が15人(39.5%)

で、最も多くなっている。



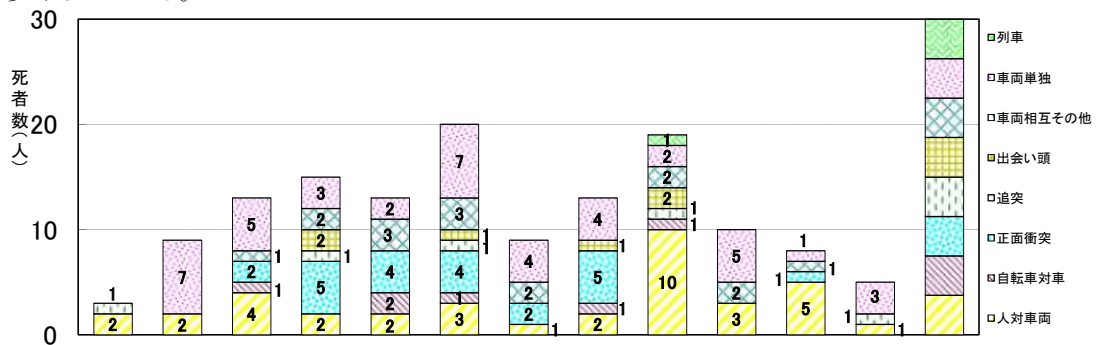
区分\道路別	国道	道道	市町村道	高速道路	その他の道路	計
死者数	58	38	28	3	10	137
構成率(%)	42.3	27.7	20.4	2.2	7.3	100.0
過去5年構成率	43.8	22.9	28.1	3.2	2.0	100.0

#### (2) 時間別

10~12時が20人(14.6%)で最も多く、次いで16~18時が19人(13.9%)となっている。

- ・ 10~12時は、車両単独が7人(35.0%)
- ・ 16~18時は、人対車両が10人(52.6%)

で、最も多くなっている。



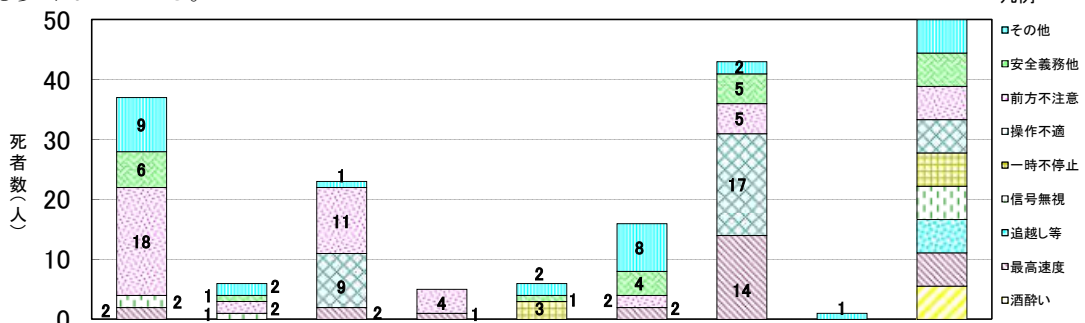
区分\時間別	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	計
死者数	3	9	13	15	13	20	9	13	19	10	8	5	137
構成率(%)	2.2	6.6	9.5	10.9	9.5	14.6	6.6	9.5	13.9	7.3	5.8	3.6	100.0
過去5年構成率	4.4	4.0	6.7	6.7	10.7	11.0	8.3	8.7	14.2	11.8	6.7	6.5	100.0

#### (3) 事故類型別

車両単独が43人(31.4%)で最も多く、次いで人対車両が37人(27.0%)となっている。

- ・ 車両単独は、操作不適が17人(39.5%)
- ・ 人対車両は、前方不注意が18人(48.6%)

で、最も多くなっている。



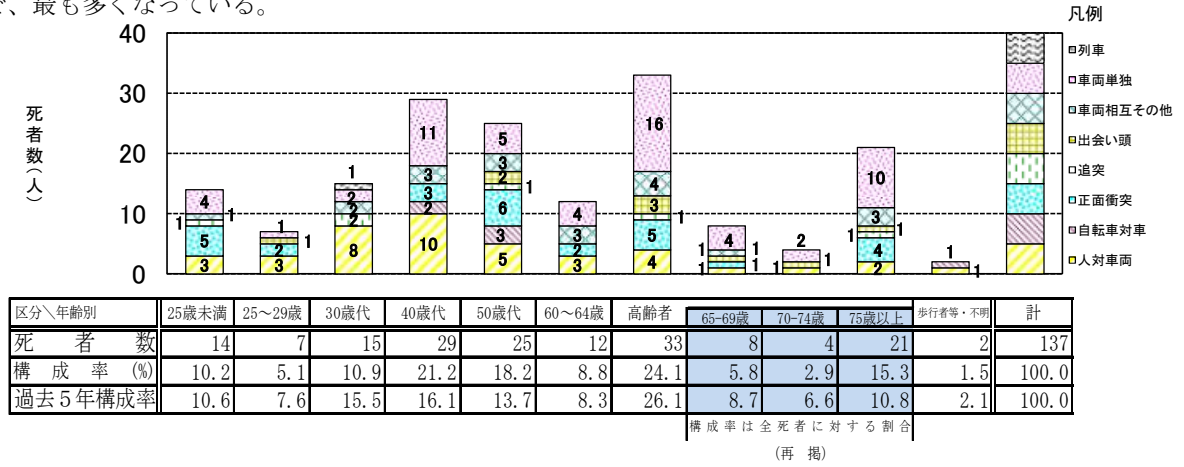
区分\類型別	人対車両	自転車対車	車両相互				車両単独	列車	計
			正面衝突	追突	出会い頭	その他			
死者数	37	6	23	5	6	16	43	1	137
構成率(%)	27.0	4.4	16.8	3.6	4.4	11.7	31.4	0.7	100.0
過去5年構成率	30.9	5.9	20.0	3.8	7.7	7.1	24.0	0.5	100.0

**(4) 第一当事者の年齢層別**

高齢の運転者によるものが33人(24.1%)で最も多く、次いで40歳代の運転者によるものが29人(21.2%)となっている。

- ・ 高齢の運転者は、車両単独が16人(48.5%)
- ・ 40歳代の運転者は、車両単独が11人(37.9%)

で、最も多くなっている。

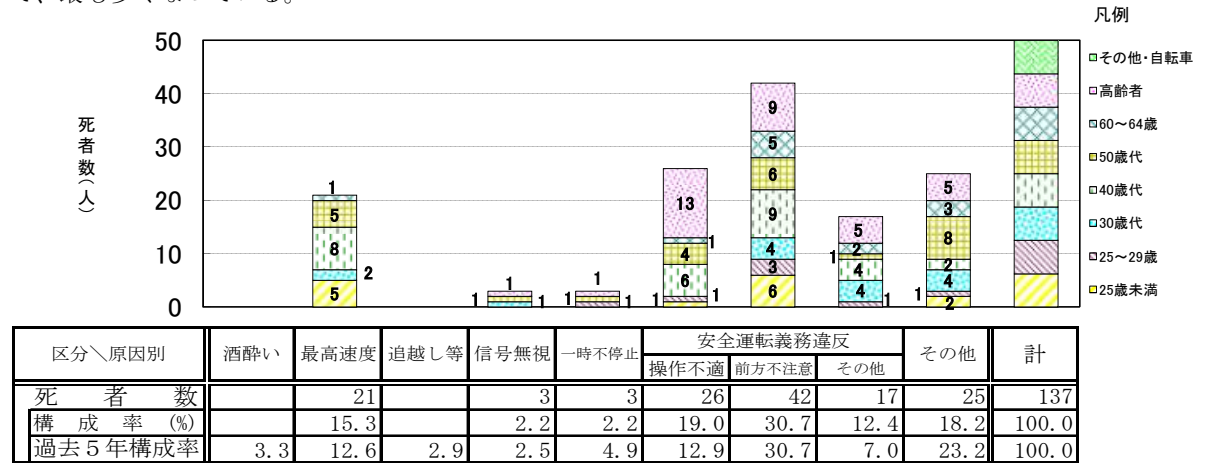


**(5) 第一当事者の違反(原因)別**

前方不注意が42人(30.7%)で最も多く、次いで操作不適が26人(19.0%)となっている。

- ・ 前方不注意は、40歳代、高齢者の運転によるものが各々9人(21.4%)
- ・ 操作不適は、高齢者の運転によるものが13人(50.0%)

で、最も多くなっている。

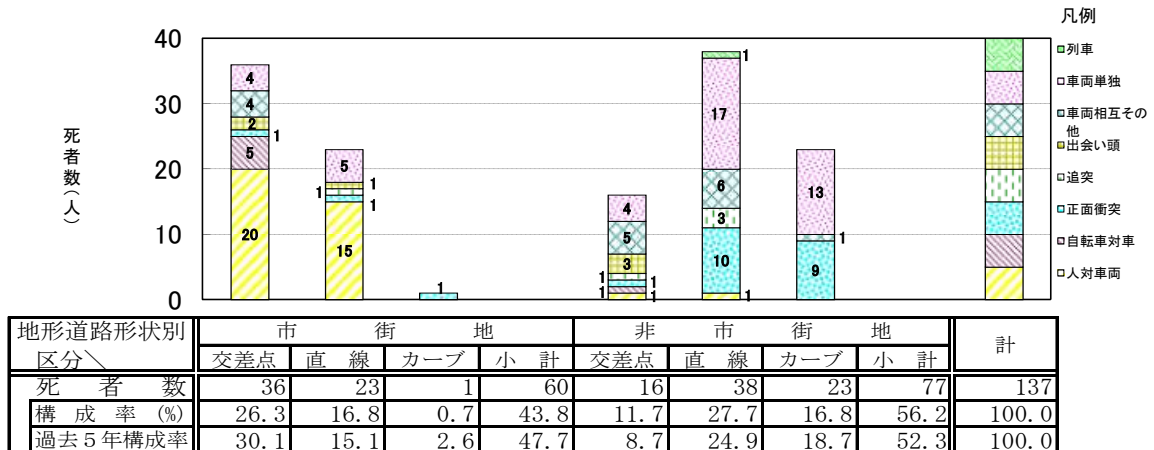


**(6) 地形・道路形状別**

非市街地直線が38人(27.7%)で最も多く、次いで市街地交差点が36人(26.3%)となっている。

- ・ 非市街地直線は、車両単独が17人(44.7%)
- ・ 市街地交差点は、人対車両が20人(55.6%)

で、最も多くなっている。

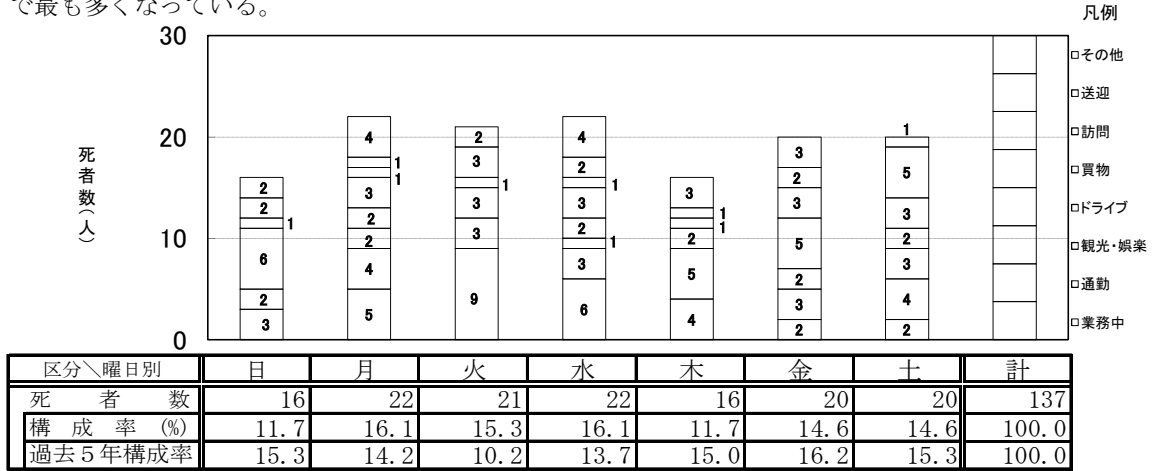


(7) 曜日別

月曜日、水曜日が各々22人(16.1%)で最も多く、次いで火曜日が21人(15.3%)となっている。

- ・ 月曜日は業務中が5人(22.7%)
- ・ 水曜日は業務中が6人(27.3%)
- ・ 火曜日は業務中が9人(42.9%)

で最も多くなっている。

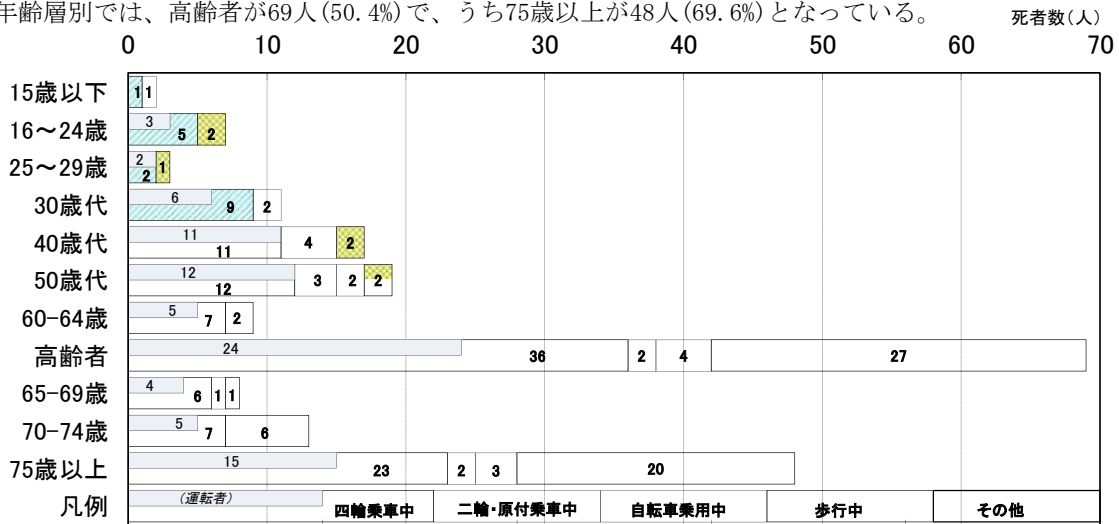


(8) 状態別・年齢層別

四輪乗車中が83人(60.6%)で最も多く、次いで歩行中が36人(26.3%)

- ・ 四輪乗車中は、高齢者が36人(43.4%)
- ・ 歩行中は、高齢者が27人(75.0%)

年齢層別では、高齢者が69人(50.4%)で、うち75歳以上が48人(69.6%)となっている。



状態別 年齢層別	死者数	四輪乗車中	二輪(原付を含む)乗車中	特殊車乗車中	自転車乗用中	歩行中	その他	計	構成率	5年構成率
		15歳以下	1			1				
16～24歳	5					2		7	5.1	8.1
25～29歳	2					1		3	2.2	5.2
30歳代	9	2						11	8.0	8.1
40歳代	11	4				2		17	12.4	8.3
50歳代	12	3			2	2		19	13.9	12.1
60～64歳	7					2		9	6.6	7.5
高齢者	36	2			4	27		69	50.4	48.7
65～69歳	6				1	1		8	5.8	8.7
70～74歳	7					6		13	9.5	8.8
75歳以上	23	2			3	20		48	35.0	31.2
計	死者数	83	11		7	36		137	100.0	
	構成率	60.6	8.0		5.1	26.3		100.0	—	—
	過去5年構成率	51.3	9.7	1.0	6.3	31.5	0.2	100.0	—	—

注 高齢者の内訳の構成率は全死者に対する割合。

